



2016年4月15日 発行

2016年春号

<第34号>

編集・発行/社会福祉法人ワークスユニオン 代表/池田直樹 〒551-0001 大阪市大正区三軒家西1丁目17-18 TEL06(6556)0881 FAX06(6556)0882 info@works-union.org http://works-union.org/tayori.html

38歳の嬉しいかいだい

お天気がいい日は公園の方に行ってウォーキングをがんばっていることです。線計りの計算がだいぶ早くなったことです。

旅行の時に著作りと花火ができましたのでとってもよかったです。

ゆるスポーツの時に全員の前に出てあいさつをがんばったことです。

スポーツフェスタでがんばってポウリングで1位になれたことがうれしかったです。

39歳でやってみなさい

線計りの計算をもう少し早くになりたいです。

ボルトの箱詰めを自分のベースをたまちながらできるようにになりたいです。

余暇活動では色んな所にあそびに行きたいです。

今年もスポーツフェスタで金メダルをとれるようにして行きたいです。

今年も毎年のようなお弁当をもってお花見にいきましようね。

岡本 浩幸

ユニオン運動会

ゆるスポ

平成28年1月23日(土)に、ユニオン運動会「ゆるスポ」を舞洲障がい者スポーツセンター「アミティ舞洲」にて開催しました。今年度もたくさんご利用者さんに参加してもらい、盛大な大会となりました。

当日は、好天にも恵まれ、絶好の運動会日和でした。参加いただいた利用者さん

昨年度は、近所の小学校の体育館で開催したため、手作り感あふれるゆるスポでしたが、今年度はアミティ舞洲での開催だったため、

備品やスタッフが揃っていることもあり、これまでとは違い、新しい種目にもチャレンジできました。

運動会といえば秋のイメージですが、そこは「ゆるスポ」。新年やお正月にちなんだ、巨大カルタ取りや、おさるの着ぐるみショーなど、運動会とはイメージが違いますが、利用者さんと楽しい時間を共有することができました。

今回は初の試みとして、に感想を聞いてみましたので、その一部を紹介します。

★大住 優子★

今回のゆるスポに参加してとても楽しかったのは、パン食い競争やかるた取りや職員さん全員の競技や玉入や大玉ころがしもすごく楽しい競技でした。なかなかみんなが顔をそろえることがなかったのでみんなと会えてとてもいい思い出になりました。みんなと会えるのもほっとした気持ちにもなるのでまた来年も参加したいと考えています。

するならば今年やったよう

な競技のゆるスポがいいなあと思っています。全職員さんの競技もおもしろかったです。おもしろくなかったことはありませんので今回のゆるスポを考えてくださった職員さんありがとうございました。またゆるスポの担当になった職員さんよろしくお願いします。

★藤田 邦彦★

ゆるスポの競技の中で楽しかったのはパンくい競争と〇×クイズがよかったです。綱引きと職員のテレビに出てくる人のものまねをしてほしいです。職員の大食競技と利用者職員対決の競走をしてみたいです。全職員の競技早食い大会と全職員のパンジージャンプと職員と利用者の早食い競争を見てみたいです。

100cmリレー自分が最後まで残って1位をとれたこととパンくい競争のお菓子リレーもすぐ取れてよかったです。かるた取りはグループホームチームにまけ

てさんねんでした。〇×クイズ全問題せいかいのことと阿部さんのさるのすがたもよかったです。玉入れとよそのところいっしょにしたこととたのしかったです。来年もいろいろな競技をまたやって1位をめざしたいです。

スポーツセンターの職員より、「ミュージックケア」という音楽に合わせて体を動かすレクリエーションへの参加の誘いもあり、「楽しかった」「またやりたい」など、有意義に過ごせた感想がありました。大住さんの感想にもあるように、皆がそろそろ機会があまりありません。

このような利用者さんの思いにこたえるためにも、ゆるスポを続けていき、より楽しい会になればと考えています。(高橋・川口)

↑実際に競技で使ったユニオンカルタ

↑今年も職員対抗競技を行いました

ミュージックケアでのひとコマ

「ユニオン展を終えて」

1月に大正区役所にて、「ユニオン展」を開催しました。

今回のテーマは「四季」で、和と匠の利用者さんが思い思いに作ったパステルアートの作品を展示しました。

パステルアートとは、パステルチョークという画材を削ってパウダー状にし、指で塗って作品にしていくアートです。絵が苦手な人でも気軽に取り組みますし、色の種類も多く、選んだ色によって同じ題材でも、印象が変わり個性がでます。

和と匠では、以前からパステルアートの講師に来て

もらい、定期的に活動を行なってきました。その活動で作った多くの作品を見てもらう機会として、今回の作品展を開催しました。

期間中は、ユニオンの利用者さんや、保護者さん、職員など関係者はもちろんですが、たまたま区役所に訪れた人や、定期的に区役所でワークショップなどに参加し、創作活動を行なっている人にも見ていただくことができました。

利用者さんが見学した時には、額に入れて展示している自分や他の利用者さんの作品を見て「めっちゃ綺麗やな!」「○○さんこんな色使うんや!」など興味深く見ている人や「次に向けて頑張って作りたい!」と次回の作品展開催を、期待している人もいました。

保護者さんや地域の方も色々な感想やご意見をいただきました。「二人一人個性が出ていて良かった」「見ていて心が穏やかになった」「カラフルな色で楽

しくなった」などお褒めの言葉や、「土曜日、日曜日も開催してほしい」「保護者や外部への告知が少なかった」など、今後の課題となるご意見もいただきました。

大正区役所の職員の方からは、今年、大正区コミュニティセンターにて行なわれるイベントで、作品を展示してみないかとお話もいただいています。

初めての和・匠合同での作品展でしたが、お互い刺激を受け、創作意欲が湧き、より活動を楽しんでいける機会になりました。今回の経験を踏まえて、次回の作品展も、利用者さんの励みになるような内容にしたいと思えます。(横田・島村)

「お肌キレイ会」

2月にエステティシャンの方に来てもらい、ダンス教室「UNION★STAR S」限定の「お肌キレイ会」を行いました。

きっかけは、昨年の発表会でメイクボランティアとして来てもらった事でした。その時に利用者さんの「メイクのやり方がわからない」との言葉が心に残ったように、是非そんな機会を、と提案していただきました。

メイクは皆興味がありますが、洗顔、基礎化粧品でのお肌を整えるという日々のことには、意識がいかない利用者さんが多いようです。

相談の上、お肌をキレイにすることを意識してもらう為、洗顔が大切というお話と洗顔体験、美顔器でのエステ体験に決定しました。

そして、「キレイ会」当日。「毎日お顔を洗っている人は?」と聞かれると2名ほどしか手が上がりませんでした。「朝は忙しいし」「水

冷たいし」との声。でも実際に泡で洗顔すると、それだけで肌色が明るくなり「顔がベトベトしてない」と効果を実感したようです。エステ体験は、全員初めての経験。専用のジェルをつけて、美顔器を顔に当てるとウツトリ。小顔になった人、色白になった人、あごのラインが上がった人、と、鏡に映る姿に目を輝かせていました。

終了後、皆口をそろえて「またやって欲しい!」。

7月の発表会までも開催予定で、メイク講座も検討中。それまでに、毎日朝に洗顔できるようにしたいと思えます。(坂田)

冷たいし」との声。でも実際に泡で洗顔すると、それだけで肌色が明るくなり「顔がベトベトしてない」と効果を実感したようです。エステ体験は、全員初めての経験。専用のジェルをつけて、美顔器を顔に当てるとウツトリ。小顔になった人、色白になった人、あごのラインが上がった人、と、鏡に映る姿に目を輝かせていました。



保護者の皆さんにはお子さんの、利用者の皆さんには自分の障害(苦手なことなど)を受け入れられず苦渋の日々を過ごされた経験をお持ちの方も多いと思うが、私が個人的に相談に乗っている人にもこんな人がいる。

前職の時、万引きの疑いで警察官の事情聴取にたまたま立ち会ったことがきっかけなのだが、数ヶ月に一度くらい突然やって来て、うまくいかない仕事の不満をまくし立てて、少し落ち着くと彼女の話や競馬の話をし、満足すると「ありがとう」の言葉と共に帰っていた。

今年に何度か電話でも長いグチを聞いている。

仕事は自分で探して何とか職には就くのだが、人間関係などでしんどくなり、数ヶ月で心身に症状が現れ離職を繰り返している。

彼の依頼を受けて、職安の専門援助部門や就業・生活支援センターとのケース会議も何度となく開催したがよい結果は生まない。

彼の場合、「働きたい」との思いが強いのは事実だが、自分の障害を認めたくないとの気持ちも強く、援助付の「障害者雇用」ではなく、「一般雇用」を選択し、毎回自分が苦しくなってしまう。

彼にとって、「自分の障害を認めた上で周囲の人の支援を受け入れられれば気持ちが楽になれる」と考えるのだが、それがどうしてもできない。

「障害の受容」と「意思決定」本人が気楽に生きられる様にどうサポートするべきなのか？

実に悩ましい問題だ。

職員紹介

はまの とうおん
浪野 哲行 (むらサマリット)

二十代の頃は、ホテルや結婚式のサービス業を経験し、その後に貿易の世界で働いていました。以前から福祉の世界に興味があり、ワークスユニオンへ就職しました。趣味は海釣り。ルアーを使って、太刀魚釣りやアジ釣りです。今後はイカ釣りにも挑戦し、フライや刺身で食べるのが次の夢です。ユニオンでは三年目です。常に、利用者さんとの関係づくりを大切に、充実し

た仕事の毎日です。そんな元氣一杯の彼は現在、四二歳。「早く結婚したいな」との事です。誰かいい人が居れば、紹介お願いします。

いのうえ ともこ
井上 瞳子 (きよメロン)

これまで大手重機メーカーで蒸気タービンの設計や、飛行機エンジンのプログラム管理などの仕事を約二十年してきました。その後、次は資格のある仕事に着きたいと考え、初任者研修を受講しユニオンへ就職しました。趣味は写真と音楽ライブに行く事。これまで野草や木などの自然を撮ってきました。最近、ライブ会場での躍動感ある画を撮っています。前職の経験を活かして職場内の「整理・整頓・清掃・清潔・健康」(この各項目をローマ字にし、その頭文字をSとして)の「5S活動の徹底」を心がけて、常に綺麗な職場で、いい支援をしていきたいと考えています。(湯川)

編集後記

東日本大震災から早くも5年が経ちました。同じ日本で起こっていることとは思えない光景がテレビで流れ、未曾有の震災と言われました。▼しかし災害はいつ何時、どこでも起き得ることです。ユニオンでも毎年、各事業所で避難訓練を行っています。▼先日、グループホームでは初めて地震による津波を想定した訓練を行い、京セラドームまで避難しました。▼サンダールで避難する人がいたり、階段での降下が危なげな人がいたり、いくつか気になる点はありましたがスムーズに避難することができました。▼しかし実際の震災時には予想以上にパニックになり、冷静な判断を下すのは至難の業です。▼それでも、いざというときのシミュレーションや備えをできる限りしておくことが大切なのだ、改めて感じた機会になりました。(N)